

みなみたね 議会だより

第2回定例会及び第2回臨時会

第182号 発行 令和5年9月1日

- 発行責任者：南種子町議会議長 塩釜 俊朗
- 編集：議会広報編集委員会
- 住所：南種子町中之上2703-1 電話26-1111

令和5年第2回定例会が6月8日～21日まで開催されました。
令和5年第2回臨時会が5月12日に開かれました。

主な内容

- 一般質問(4名)..... 2P～5P
- 委員長報告(請願審査)..... 6P
- 委員会発委(意見書提出)..... 7P
- 論点..... 8P～9P
- (第2回定例会及び臨時会議案及び補正予算審議から)
- 人事・ホームページ閲覧等..... 10P
- (副町長・監査委員・農業委員・編集後記)

【さとうきびび病の実態調査風景】
産業厚生委員会(令和5年7月18日撮影)

一般質問



濱田 一徳 議員

2期目に当たり

濱田 今後4年間でやり遂げたいものがあるか。

町長 基本政策は「公正公平で町民が主役の思いやりのある政治」を掲げ、3項目を柱としている。

第一は、農林水産業と観光を融合した産業振興と商工業の活性化。

第二は、安全安心で思いやりのある、共に支えあう医療・福祉・教育の充実。

第三は、雇用創出による若者定住化で、活力あふれる街づくりである。

農林水産業の振興では、種子島農業公社に代わる本町の法人を設立し、農業基盤の安定を図って行きたい。また有機農産物の普及栽培、地元消費拡大、民間観光業と連携した特産品の販路拡大等若者が期待できる農林水産業を目指したい。

教育面では荃南小学校建設を計画的に実施する。

またサテライトオフィスを活用したIT関連企業の誘致、特定地域づくり事業協同組合の活性化による雇用促進を図り、人口流失を横ばい傾向にもついでいく定住化。

特に人口減少については令和7年の国勢調査で目標達成できるよう取り組む。

移住定住促進住宅整備事業では、各小学校区に平均6戸の住宅を整備しており、6年度から受入れができると思う。

馬毛島基地整備については町民の意向に沿って問題点を防衛省にしっかり物が言える環境、信頼関係を造っていく。

説明責任について

濱田 トンミー市場の焼き鳥屋建設に法律違反との声が聞こえた。町としての見解は。

町長 法律違反は全くない。何度も嘘の街宣があり、令和5年第1回町議会定例会でも経緯等について説明し、町広報紙4月号にも報告させていただいた。住民監査請求についても県町村会顧問弁護士事務所に担当課長が出向き相談し、違法性は全くないと判断をいただいている。

公立病院の面会について

濱田 公立病院だからこそ感染防止対策を徹底し、コロナ禍以前の様にできないか。管理者の町長の考えを伺いたい。

町長 病院や医療施設において面会に関するポリシーやガイドラインを設定している。感染症が広まっている場合は、感染症のリスクを最小限に抑えるための対策が必要と思う。5月8日から新型コロナウイルス感染症の扱いが2類から5類に移行し、厚生労働省が各医療機関に患者と面会者との交流の機会を可能な範囲で確保するように対応を求めたという。

公立病院も面会制限基準を変更し、平日午後2時から5時の間、1日1回15分程度2名迄とし面会を再開している。感染対策の継続は今後も必要であり、面会ルールは、病院内で協議・検討しながらやることになると思う。

種子島農業公社離脱に伴う新たな法人設立について

濱田 どのような法人を目指しているのか。

町長 種子島農業公社で行っていたさとうきび、水稲、サツマイモの農作業受託を考えている。直営方式は行わず再委託による農作業受託を考えている。農家への説明については、町広報紙等で周知を図っていききたい。

濱田 農協との関係について。

町長 農業者の多くは農協の組合員で農協の協力は欠かせない。現在支所長、課長レベルで協力要請をしており、私も近く組合長に対してお願いをし、今後の協力体制を築いていきたいと思っている。

濱田 法人化の進捗状況は。

町長 令和5年10月1日設立に向けて準備を進めている。



柳田 博 議員

農業施策について

柳田 ここ数年、肥料はもとより、飼料・資材・農機具の高騰はとどまることなく、年間の農産物生産額では、追いつけず、赤字経営に陥っている。二元集荷体制になった頃は、小・中規模の農家や兼業農家の皆さんを大切に、集出荷のバランスを講ずる施策があった。こういった農家の皆さんが、赤字と高齢化が進む中、辞めていく小・中規模農家への支援策について。

町長 経営規模の拡大や法人化に対する取り組みが主な支援になっているが、兼業農家も大変貴重な農業経営体であり、国・県の農業施策はもちろん、可能な限り、町単独での支援できる施策の充実強化を推進していく。

柳田 近年、様々な病害虫が発生し、農家の経営を圧迫している。特効薬もない現状であり、今年度施政方針でも提案し実践する対策は。

町長 施政方針でも述べましたが、「持ち込まない。増やさない。残さない。」このことが基本対策であり、種子島管内では、この対策を徹底することを統一している。町独自で、種子イモの蒸熱処理装置の設置、国・県の補助事業を活用しながら、圃場への堆肥散布事業などを今後も実施していく。

柳田 さとうきび生産農家に、令和4/5年産については、ト当たり1,000円の助成金があった。

町長 令和5/6年産について、現状の社会情勢などから、ならかの助成はできないか。

町長 国のさとうきび生産性向上緊急支援事業をフル活用し、各関係機関との連携を図り、意見・要望をしっかり聞きながら、検討していきたい。

柳田 ハーベスター導入農

家に対しての支援策について。

町長 4年度に、本町独自の支援策として、農作業受託持続投資支援事業を制定している。今後も、どういう支援がいいのか検討していく。

柳田 農地の区画整備と農道の整備について。

町長 国・県の補助事業は、様々な制約がある。地方債・過疎債・辺地債などをうまく活用し、整備計画を検討します。

柳田 堆肥センターの堆肥散布車の修理・修繕を、日数をかけずに速やかに稼働させる手立ては。

町長 今年度、堆肥散布機を一台購入し2台体制となり、農家のニーズに対応できることとなります。

自衛隊施設建設に伴う地元説明について

柳田 官民一体となった自衛隊誘致推進協議会、議会の自衛隊施設誘致調査特別委員会共々、自衛隊施設の誘致活動により、本町に4施設が整備される。売買手続きも始まっているが設置予定地近隣の住民にも、今現在、具体的な説明がない。早急に説明会を開催してほしい。

町長 防衛省は、実施設計を行っているようだが、本町に対しての説明はない所であり、まず、ヘリポートの周辺住民に対する説明会などを行っていただくよう、防衛省には要請をしているところがあります。

4施設とは...
官舎・車庫・車両整備工場・自衛隊ヘリポート

町づくりビジョンについて



上園 和信 議員

上園 小園町政、2期目に向けての町づくりビジョンを示せ。

町長 本町にとって農業振興対策、人口減少、少子化対策は重要な課題である。

農業振興は種子島農業公社を離脱したことに伴い、新たな法人の設立に向け関係機関、団体との協議を重ねている。

食の農業の安全保障について、有機にも取り組み、荒廃農地の復旧、新規就農者の確保を図り、将来に向けた持続可能な農業を推進する。

人口減少対策は、第28期宇宙留学生56名を決定した。

そのほか、宇宙芸術祭、少子化支援策として病後児保育事業、結婚祝金、出産祝金の増額支給で、子育てしやすい日本一のまちの実現に取り組む。

宇宙開発への協力・支援策について

上園 最近、町内の大型ホ

テル、旅館の相次ぐ閉鎖・廃業で宇宙開発の推進にも大きな影響を及ぼしているのではないかと。ホテル・旅館の誘致に取り組む考えはないか。

町長 町としても現状、一刻も早く打破できるよう努力してまいりたい。

公共施設の適正管理について

上園 はまだの湯、現在休業中。休業はいつからで、その理由は。

総合農政課長 令和4年10月14日に保健所の立入検査があり、鹿児島県公衆浴場法施行条例第4条に規定する措置の基準に不適合と判断され、その日から休業している。

主な内容は、浴槽の木枠が腐食している。源水配管の吐出口が浴槽水面より下部に位置している。浴槽水を溢水していない。貯水槽の一部が破損していること。施設の清掃、消

毒をしていない箇所があったこと。

上園 保健所から指摘された事項を早急に改善して、営業を再開することについては、どう考えるか。

総合農政課長 施設の改善に伴う費用は、改善方法により大きく異なるが、500万円から1,600万円程度の改修コストを見込んでいる。

先日の大雨により、源泉斜面が崩落し、源泉からの送水が不可能な状態になっている。これらの課題を共有しながら、中長期的な施設の在り方も含めて協議を進める必要がある。今しばらく時間がかかると思う。

上園 中央公民館、町の中心地にあつて、外から見ると塗装は消え、汚れが目立ち、景観上非常に見苦しい状況で建て替えている。大規模改修が必要と考える、町長の所信を。

町長 南種子高等学校が平成22年3月に閉校になり、

平成24年4月に中央公民館として位置づけられた。

中央公民館については、築50年以上が経過し、老朽化も進んでいることから、外壁の塗装やトイレの改修など、具体的な設計を行うため、中央公民館耐震改修工事設計業務の予算化を行い、5年度から大規模改修工事を計画している。

上園 旧南種子高等学校跡地運動場の一部を自衛隊関連施設建設用地として国に売却したようだ。売却に伴う取引内容と建設される隊員宿舎等詳しい説明を。

総務課長 住民への事前説明は、令和4年7月20日に町有地と隣接関係者との境界確認を実施し、隣接関係者から異議なく了承を受けている。この場所に決定した理由は、部隊の運用、交通の便、周辺環境などの様々な条件を考慮して決定した。との説明を受けている。処分した面積は4,465平方メートル、売却額は2,350万円。



福島 照男 議員

稼げる町づくりを目指すために

福島 私は安心して住みやすい町づくりのために、「稼げる町づくり・稼げる農業」と社会福祉の充実をテーマに、今後4年間取り組んで参ります。大きなテーマですから、今回は問題提起として町長の考え方と方向性について伺って行きます。そこで、稼げる町づくりについてですが、4年間に目指す町民所得の目標数値とその達成に向けた施策の展開についてお尋ねします。

町長 目標数値ということについては、自治体において現在設定してやっているところはないと思います。その中で本町の総合戦略にKPIを設定して取り組んでいます。

企画課長 目標数値については、「第2期トライタウン南種子宇宙・歴史・文化の町総合戦略」においてKPIを設定していますが、町民所得の目標数値については設定していません。各事業の目標数値等設定していますので、各分野における施策の推進によつて所得の向上も図られていくものと考えております。

福島 先日商工会の総会が行われ、いろんな方の意見を聞かせていただきました。会員数は約180名ですが、多くの従業員が働いており、本町の経済を回している大きな存在だと改めて実感しました。町の活性化を図り町民所得を向上させて行く為には、もつと商工会とタッグを組んで行く必要があると思います。町長の取り組み姿勢を伺います。

町長 商工会側としてはマンパワー不足でいろいろな取り組みが厳しいようですが、私どもの町は、商工会とタッグを組むのが一番望ましいということ、先日会長と一緒に東京にも行ってきました。地域通貨についてもまもなくスタートさせますが、始めは町でやりますが、いずれは商工会でやってもらうのが一番良いと思っています。

稼げる農業について

福島 サトウキビの生産者からは、大変なバッシングを覚悟の上で、単刀直入に言いますが、本町におけるサトウ

キビ経営に展望はないと思います。砂糖の消費量が減って行く中で、糖価制度による交付金の原資が毎年不足する状況の中で、単価引き上げは至難の業です。一方経費は増え続けて農家所得を直撃し、一年一年厳しい経営状況に追い込まれていきます。サトウキビに変わる代替作物の導入を急ぐ政策転換を思い切つて行うべきだと思います。

町長 本町の基幹作物であるサトウキビを議員が言われるような方向に行くのは、非常にこれはもう出来るものではないと思います。非常に厳しいというのには理解できます。国のサトウキビ生産性向上緊急支援事業というのがありまして、堆肥投入や土壌改良、資材散布事業、農薬資材等への助成支援をしっかりと行いながら、生産額6億円ある基幹作物ですから、関係機関と連携しながら振興を図っていくと思います。

歳未満児の保育料については無料化しておらず、本町は現在有料になっています。しかしながら、すでに県内の8市町村では無料化しており、10の町村に於いても半額程度の保育料支援策を行っています。所得ランクによつて保育料額は変わってきますが、本町でも半額程度の支援はあっても良いと思うが、町長の考えを聞かせてください。

町長 これは国の法令に基づいて徴収しております。これを無償化すると1,000万円の財源の捻出が必要となり、全く町単独でやるというのは、ちよつと今の財政状況の中で私もどうかと思えます。結婚祝い金や宇宙留学制度については過疎債のソフトです。これは借入れをしますが、返済のときに国から7割が返ってきます。いろいろな考え方、財源の確保については一つの課題として受け止めていただきます。

3歳未満児の保育料無料化について

福島 国は課税世帯の3

KPIとは...
重要業績評価指標と呼ばれる、中間目標を意味し、あくまでゴールに向かうプロセスの目標数値です。

請願審査

(総務文教委員会)

委員長 大崎 照男
副委員長 平島 強

意見書提出

委員 塩釜 俊朗
委員 上園 和信
委員 柳田 博

請願第1号
馬毛島基地(仮称)に空
自救難隊の配置を求め
る請願について

請願第1号は、令和5年第2回定例会において、総務文教委員会に付託されたものです。

当委員会は、令和5年6月9日、第1委員会室において、全委員出席のもと、付託を受けた請願第1号の審査方法等について協議を行い、内容的に本定例会で報告することが望ましいと判断し、提出者からの趣旨説明を受けることとした。

同日、提出者に出席いただき、請願書の要点は、離島からの急患搬送に貢献してきた海上自衛隊鹿屋航空基地内の第22航空分遣隊が本年1月

に廃止され、救難ヘリUH-60Jについても除籍され、離島

島の急患搬送には、宮崎県の新田原救難隊と熊本県の高遊原分屯地の部隊等が担任することになり、1分1秒を争う急患搬送において、離島の住民にとっての影響は、極めて大きなものとなったことから、南種子町議会におかれま

しても、新田原救難隊を自衛隊馬毛島基地(仮称)に移転させ、南西諸島北部地域の急患搬送を担任してもらうことを、鹿児島県知事、防衛省に對して、要請をお願いしたいとの趣旨でした。

提出者・紹介議員への質疑も特になく審査を終了し、総括質疑を行い、「質疑なし」と認め、討論なく、起立採決の結果、全委員一致で、当委員会に付託された請願第1号は、

「採択すべきもの」と決定しました。

意見書発委
自衛隊馬毛島基地(仮称)に空自救難隊の配置を求める意見書について

離島からの急患搬送に貢献してきた、海上自衛隊鹿屋基地内の第22航空鹿屋分遣隊が、本年1月に廃止され、同分遣隊において急患搬送に使用されている救難ヘリUH-60Jについても、除籍されたところ、除籍後の搬送体制については、宮崎県の航空自衛隊新田原基地の新田原救難隊UH-60Jによる種子島までの所要時間は、およそ40分、また、熊本県の高遊原分屯地部隊等の輸送ヘリCH-47JAによると、種子島までの所要時間は約60分となり、従来の鹿屋分遣隊の所要時間18分に比べ、2倍を超える時間を要することになります。このことから、離島の住民にとっての影響は、極めて大きなものとなる

とあります。よって、南種子町議会は、現在、防衛省において整備が進められている自衛隊馬毛島基地(仮称)を活用し、宮崎県の新田原救難隊を自衛隊馬毛島基地(仮称)に移転させ、「馬毛島救難隊」として、南西諸島北部地域の救急搬送の任務を担当してもらうために、意見書を提出するものです。提出先は、衆議院議長、など関係機関に送付しました。

意見書提出

(産業厚生委員会)

委員長 福島 照男
副委員長 野首 久教

発委第3号

委員 川内田 行博
委員 名越 多喜子
委員 濱田 一徳

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

森林環境譲与税は、我が国の温室効果ガスの排出を削減するとともに、災害防止等を図るため、森林整備に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設されました。

国から配分される市町村への譲与税の用途は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることがされています。また国は、森林の保水力

低下に伴う洪水氾濫や山腹崩壊等に加え、停電の原因となる倒木等に対応するため、森林環境譲与税を増額し、森林整備を促進させるとしていきます。しかしながら、森林環境譲与税の譲与基準は、私有林人工林面積(10分の5)、林業就業者数(10分の2)及び人口(10分の3)に基づき算定されるため、人口の多い都市部への配分が多くなることや、森林整備には使われずに基金に積立られているなどの問題が指摘されており、現行の譲与基準を維持したままでは、早急な森林整備を必要とする

とあります。よって、南種子町議会は、現在、防衛省において整備が進められている自衛隊馬毛島基地(仮称)を活用し、宮崎県の新田原救難隊を自衛隊馬毛島基地(仮称)に移転させ、「馬毛島救難隊」として、南西諸島北部地域の救急搬送の任務を担当してもらうために、意見書を提出するものです。提出先は、衆議院議長、など関係機関に送付しました。



森林を抱える地方自治体への適正な配分が行われず、防災上の観点からも、森林整備を促進する財源とされた趣旨を損なうことが懸念されています。よって、国におかれては、森林環境譲与税について、林業に係る財政需要の大きな地方自治体及び地球温暖化防止機能・土砂災害防止機能・土壌保全機能などの公益的な機能を有する過疎地域、半島地域、離島地域に対し、特段の配慮がなされるよう、譲与基準の見直しを行うことを強く要望し、関係機関に意見書を提出するものです。

提出先は、衆議院議長、など関係機関です。

請願陳情審査状況

受理番号	件名及び要旨	提出者	審査状況
請願第1号	馬毛島基地(仮称)に空自救難隊の配置を求める請願書	南種子町中之上 2331-1 鮫島 昭信	採 択

意見書発委状況【令和5年第2回定例会】

発委番号 (発議者)	件 名	要 旨	提出先
発委第2号 (総務文教 委員会)	自衛隊馬毛島基地(仮称)に空自救難隊の配置を求める意見書の提出について	離島から急患搬送に貢献してきた、海上自衛隊鹿屋航空基地内の第22航空隊鹿屋航空隊が本年1月で廃止された。 防衛省において整備が進められている自衛隊馬毛島基地(仮称)を活用し、宮崎の新田原救難隊を自衛隊馬毛島基地(仮称)に移転させ、南西諸島北部地域の救急搬送の任務を担当してもらうことを強く要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 防衛大臣 鹿児島県知事
発委第3号 (産業厚生 委員会)	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について	森林の有する水資源及び国土保全などの多面的機能を維持し、再生林を含めた林業政策を強力に推進する必要があることから、森林の多い市町村へ配分を高めよう譲与基準の見直しを強く要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣

論

報告

令和4年度南種子町繰越明許費繰越計算書について

今回の繰越明許費は、16件の事業で総額は、2億8,729万5,000円である。なお今回報告する16件の事業は、令和4年度一般会計補正予算の予算審議にて議会へ説明し議決をいただいたものになる。

質疑 なし。

令和4年度南種子町事故繰越し繰越計算書について

今回の事故繰越は7件の事業である。旧南種子高校施設解体工事等で、翌年度繰越額の総額は、3,721万5,600円である。

質疑 なし。

点

条例

南種子町定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

当局の説明 西之・野大野住宅改修工事が6月末に完成見込みであり、7月から入居可能のため、空き家の設置と家賃を追加するもの。

上園議員 どの辺に建っている住宅か。その住宅は町が買い受けたものか、それとも借り受けたものか。

答弁 今回の住宅は、旧谷山商店の住宅になり、借り受けになる。

南種子町結婚祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

当局の説明 祝い金の支給対象と祝い金の額を変更し、本町における婚姻及び定住促進を図るもの。

南種子町出産祝金支給条例の一部を改正する条例制定について

当局の説明 昨今の物価高騰などにより、子育て世帯の経済負担が増大していることなどから、出産祝金について支給額と支給方法の改正を行い、本町において安心して産み育てることが出来る環境づくりを図るもの。

以上3件の条例案件が上程され、原案のとおり可決されました。

予算

令和5年度南種子町一般会計補正予算(第2号)

本年度の当初予算は、骨格予算として編成していたので、今回の補正予算には今後の町の発展方向を踏まえながら諸施策を決定し、関連する事業を計上して、予算の総額に8億4,360万円を追加し、予算の総額を62億7,647万円とするもの。

濱田議員 福祉センターの施設補修工事に2,500万円の予算が組み込まれているが、トイレの工事を主にやるのか。それとも全体的にやるのか。また、今後福祉センターを作り替えるという構想自体が白紙撤回されたのか。

答弁 福祉センターについては、浄化槽を新たに設置しなければならぬことと、トイレ、その他の所についても必要な整備を図ることと、2,500万円となっている。

福祉センターについては、先を見据えた総合的なことを考えて建て替え整備を検討してきており、米軍再編交付金は、どういう計画で使用していくかは防衛省の方に協議をしないといけないようになっていく。しっかりと議論をして進めなければならぬと思うが、もう一回やり直すことになるかと防衛省側との協議が必要なので、今回は白紙に戻している。

福島議員 病後児保育の施設改修工事について具体的な中身を教えてください。

答弁 病後児保育は、公立種子島病院の旧歯科診療所の中であり、受付カウンターの撤去、パーティション

で3部屋に仕切る工事を考えている。

上園議員 各地区に設置している、ごみステーションのごみ出しマナーが非常に悪いので徹底していただきたい。

答弁 ごみステーションの管理は、各衛生自治会の方で協議して、ごみ出しのルールを決めている。防災無線に限らずそれぞれの集落、班においても徹底した管理をしてほしいとお願ひしており、引き続き対応していきたい。

濱田議員 海岸漂着物地域対策事業委託、地球温暖化対策実行計画について説明を。

答弁 海岸漂着物地域対策事業委託は、島間地区の一部、西海地区の一部で大体延長で1,700坪の海岸清掃を予定している。委託については、令和3年度・4年度実績では、町のシルバー人材センターにお願いしている。地球温暖化対策の実行計画は、市町村に義務づけられているもので、カーボンニュートラルの取り組みということで、今年度は、電気自動車の導入、太陽光の設置を計画しており、これを含めて計画

を策定することになっている。

柳田議員 農林水産業費の漁港建設費で砂坂漁港浚渫工事が、土木費の港湾建設費で田尻港の浚渫工事が入っている。以前砂坂港、田尻港、広田港の浚渫をお願いしているが、広田港はどうなっているか。また款が違うことについてお聞きしたい。

答弁 土木費と農林水産業費の方で分かれている。田尻港と広田港は港湾施設になつているので土木費になる。広田港は、現在令和6年度に計画している。

福島議員 園芸産地再生支援事業と農業農村環境整備事業の工事請負費2件の工事について教えてほしい。

答弁 園芸産地再生支援事業は、今年1月の寒波に伴い園芸作物に被害を受けた農業者に対して、次期作の再生産等に向けた支援を行い、園芸産地の維持拡大を図ることを目的としている。農業農村環境整備事業工事請負費、農業用施設環境整備事業は4つ事業があり、
①河内地区の用水路整備工事。

②下中地区の用水路改修工事。
③西之小笹地区の排水路流末改修工事。

④長谷・有尾地区の用水路整備工事となっている。営農雑用水施設工事は、本村地区と牛野地区の2カ所に営農雑用水施設を造る計画である。

上園議員 学校の校舎建設工事設計業務委託料1,117万円は、荃南小学校の建設工事に伴う予算計上だと思いが、建設地は今の場所か。それとも他の場所か。また、校舎と体育館も含めた建設事業か。
地区公民館空調機はこの公民館に設置するのか。

答弁 既存の学校を利用しての校舎、新たな建設を考えているが、地元の要望も聞きながらの選定になる、と思っている。
体育館は旧中学校の体育館を活用するが、老朽化も来ているので整備も含めて活用する方向で考えている。
地区公民館空調機は、長谷地区公民館及び西海地区公民館である。

福島議員 荃南小学校の

建設工事については、南海トラフ地震を鑑みての建設工事をどう見通しているのか。総工費について、概算でどれくらいかかるか。
また、南高校舎の跡地については、特産品開発センター等も含んで将来的な構想を考える中で取り組みたい。という答弁をいただいていたが、体育館の解体はどんな構想で進めていく予定か。

答弁 南海トラフ地震の関係ですが、校舎は旧荃南中学校があった高台の方に、今検討している。費用は現在の段階で委託費、工事費すべて合せて8億円程度を考えている。

南高校舎の跡地については、総合的な感じで計画を現在している所ですが、今回解体する場所は、屋内運動場本体と武道館横のトイレ、更衣室、ポンプ室、中央公民館との渡り廊下の部分で進めている。

名越議員 集落内環境整備事業の内容と、向方住宅建設工事について、向方は何件分になっているのか。

答弁 集落内環境整備は、大宇都集落内の排水工事の整備と小平山集落排水工事

を予定している。向方団地の公営住宅建設工事は、旧島間保育所跡地となる。建築については、1棟2戸で1戸が2LDKと予定している。
解体工事は、島間小学校上の向方団地で1棟4戸と1棟3戸、7戸分の2棟を予定している。

福島議員 電子地域通貨事業について、教えていただきたい。

答弁 地域通貨という形でクレジットカード的なカードを町民の皆さんに配布し、それに現金をチャージしていただき、町内の加入している店舗の各端末で支払いをしていただく(キャッシュレス)システムである。

福島議員 初回チャージプレミアムポイントは、新たに発行するカードに全額を付与して各世帯に配布する理解でいいか。それと使用できる加盟店は町内で何店舗ぐらいを予想しているか。

答弁 初回チャージプレミアムポイントは、最初1回目にお店とかに行つて1,000円でもチャージしていただき、その時に5,000円を上乗せしてチャージされる。

加盟店の環境整備の補助として100店舗分を計上している。

令和5年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

当局の説明 今回の補正は、申告受付システム関連機器リース料が主なもので、13万7,000円を追加し、予算の総額を8億3,500万3,000円とするもの。

質疑 なし。

令和5年度南種子町介護保険特別会計補正予算(第2号)

当局の説明 今回の補正は、元気度アップ事業に関する費用が主なもので、65万7,000円を追加し、予算の総額を7億2,798万4,000円とするもの。

質疑 なし。

以上3件の予算案件が上程され、原案のとおり可決されました。

人 事

副町長の選任

小脇 隆則(58歳)
南種子町西之4586番地
昭和39年10月24日生



小脇 隆則氏

監査委員の選任

(識見者)
日高 二生(69歳)
南種子町中之上2076番地11
昭和29年2月26日生



日高 二生氏

監査委員の選任

(議会選出)
名越 多喜子(72歳)
南種子町中之上3121番地
昭和26年1月12日生



名越 多喜子氏

農業委員の任命

砂坂 浩一郎(66歳)
南種子町西之3815番地
1

小山 幸良(67歳)
南種子町島間4313番地

石堂 かよ子(71歳)
南種子町荖永768番地4

牛野 進一郎(66歳)
南種子町島間1724番地

中島 一三(68歳)
南種子町平山1920番地

高田 真盛(64歳)
南種子町西之6506番地
4

上山 幸夫(72歳)
南種子町中之下1860番地12

福 富久(70歳)
南種子町中之上1789番地161

中之箇 堅二郎(62歳)
南種子町中之上3148番地1

久保田 力男(65歳)
南種子町島間2998番地
1

寺内 秀昭(65歳)
南種子町中之下1151番地

黒木 りか(50歳)
南種子町西之3509番地
40

12名の皆さんが農業委員に任命同意されました。任期は、令和5年7月20日から、令和8年7月19日まで3年間で

ホームページの閲覧について

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより(平成27年3月発行分以降)と定例会の会議録(平成27年第2回定例会分以降)の閲覧ができます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



編集後記

4月23日南種子町議会議員選挙が執行され、新たに10人の議員が選出された。

6月8日から21日までの14日間で、第2回定例会が開催され、令和5年度一般会計補正予算8億4,360万円追加の総額62億7,624万円などの、6議案を可決した。主な補正予算は、西之表市馬毛島の自衛隊基地(仮称)整備に伴う米軍再編交付金関連事業1億6,909万円、自然の家宿泊棟の洋室化2,626万円、福祉センター施設補修2,500万円。

議会と行政は、車の車輪のごとくとの言葉を耳にします。議員一人一人が身を引き締め活動し、町民総力で町づくりを進めていきたいものです。ウクライナへのロシアの侵略戦争は終わりが見えません。物価は上昇し、国民の生活は苦しくなるばかり、残暑きびしく、日々の生活に充分気を付けて下さい。

議会広報編集委員会 (文責) 平島 強